



新年のごあいさつ

いわき市薬剤師会会長 阿部 正敏

新年あけましておめでとうございます。

いわき市薬剤師会員の皆様におかれましては、お健やかに新年を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

さて昨年の6月より新執行部体制になり、6ヶ月が過ぎた現在様々な問題が山積されております。かかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師の構築、地域住民の健康を増進させる健康サポート薬局制度、多職種連携における地域包括ケアシステム、キビタンネット利用の医療 ICT などによる電子処方せん発行計画促進等々、即座に行動しなければならない問題と、慎重に推考を重ねて今後の課題に向かっての対処しなければいけない問題があるように思われます。一方昨年の12月に、塩崎厚生労働大臣が突然薬価の毎年改定及び引き下げ案を財政諮問会議にかけようとしています。本来これらは中医協で論じられる問題だと思います。毎年の薬価引き下げは、薬局のランニングコスト増加、在庫薬の資産価値の減少等々、薬局にとっても経営上大変な問題です。これらの諸問題に、会員一丸となって取り組んでまいりましょう。執行部一同にご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

今年は酉年、先生方の益々の飛躍と、ご活躍を祈念申し上げ新年の挨拶と致します。

～平成28年度 認定薬剤師甲請研修予定～

- 29.01.25 平成28年度「調剤報酬特別研修会」
 会場：いわき明星大学 AV 大講義室
 時間：19:00～20:30
- 29.01.30 「糖尿病についての最近の知見」
 「心血管不全予防に向けた糖尿病治療
 －SGLT2阻害薬の可能性－」
 会場：グランパークホテル パネックスいわき
 時間：19:00～20:45
- 29.02.03 いわき市医師会整形外科部会
 「骨粗鬆症を伴う高齢者脊椎疾患の諸問題
 －「車の車輪」としての保存&手術治療」
 会場：グランパークホテル パネックスいわき
 時間：18:45～20:15
- 29.02.06 いわき市糖尿病フォーラム
 「糖尿病診療における心血管合併症の診か
 た up to date」
 会場：いわきワシントンホテル
 時間：18:45～20:15
- 29.02.09 薬薬学連携研修会
 「創傷被覆材の使用と留意点」
 「知っておきたい褥瘡治療～薬剤師の視点から～基礎編」
 会場：いわき明星大学薬学部棟 16-108 講義室
 時間：19:15～20:45

29.02.10 いわき心身医学懇話会学術講演会

「高齢者のうつ病治療について」

会場：いわきワシントンホテル

時間：19:00～20:30



29.02.24 第38回いわき神経疾患研究会

「てんかん」

－就業や自動車運転を考えた関連法律－

会場：いわきワシントンホテル

時間：19:00～20:45

29.03.04 第12回いわき糖尿病療養指導・看護を考える会

「糖尿病療養指導で期待されること」

会場：いわき市総合福祉センター多目的ホール

時間：13:55～16:20

セルフメディケーション税制が始まりました！ **お知らせ**

薬局などで証明書類を発行する場合には、領収書の他にレシートでも構いませんが、①商品名、②金額、③当該商品がセルフメディケーション税制対象商品である旨、④販売店名、⑤購入日が記載されていなければいけません。また、セルフメディケーション税制の控除対象になるには、自己、自己と生計を一にする配偶者・親族に加え、特定健康診査、定期健康診断、健康診査、がん検診、予防接種を受けていることも要件になりますので注意しましょう。

＜清掃ボランティア実施のご報告 および 血糖測定器のお話＞

新年あけましておめでとうございます。広報委員の松本よりご挨拶申し上げます。さて、私から1) ボランティア清掃のご報告と、2) 血糖測定器 についてご案内申し上げます。

1) 昨年11月20日(日) 清掃ボランティア実施のご報告

10月発行「樹雨」で募集しました「清掃ボランティア」は、当委員会メンバーの他、佐藤先生(豊間薬局四倉店)、秋元先生(スミレ薬局)、山本先生(アイランド薬局)、櫻澤先生(さくら薬局四倉店)のお力添えの元、無事完了しました!

いわき駅前に9時集合し、「いわき市薬剤師会」のビブスをまとい、ゴミ袋を手に2時間実施しました。終了後は、どこか忘れかけていた奉仕の気持ちを思い出し、清々しい気持ちになりました。

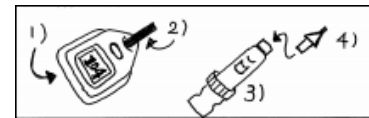
さて、広報情報委員会では、『地域に根付いた薬剤師』をテーマに、様々なイベントを考案しております。今回は、昨年7月ニュータウン祭りの「薬剤師による健康相談室」に次ぐ第二弾イベントでしたが、今後も地域のみなさまに触れ合うイベントを考案して参ります。イベントの際は、皆様のご参加を心よりお待ちしております。また、当委員会ではみなさまからの貴重なご意見、アイデアを随時お待ちしております。

2) 血糖測定器のお取り扱いについて(法規にかかわるお話)

血糖測定器は、おおまかに以下の4種類でなっています。

1) 本体	3) 穿刺器具(柄の部分)
2) 本体にセットする試験紙(電極、センサー)	4) 3)にセットする針(穿刺針)

それぞれ規制が異なっており、かかわる免許を以下にまとめてみました。



表【血糖測定器の各部品と規制】

血糖測定器の各部品	規制区分	患者様への販売	卸発注時のご留意点
1) 本体	高度管理医療機器 兼 特定保守管理医療機器	高度管理医療機器等販売業の免許が必要となります(※1)	高度管理医療機器を初注文される卸会社には、免許情報のご提供にご協力ください(※2)
2) 電極(セナ)	体外診断用医薬品(医療用)	薬局開設許可証にて販売可	—
3) 穿刺器具	一般医療機器		—
4) 穿刺針	管理医療機器		—

多くの卸では、薬局様の免許を販売行みに組み込み、ご取得の免許に応じたご注文品を販売させて頂いています。血糖測定器は、上記免許が必要なことから(※1)、初注文されます卸会社には、免許情報のご提供にご協力頂きたく存じます(※2)。なお、高度管理医療機器は、薬機法で「副作用又は機能の障害が生じた場合において人の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあることからその適切な管理が必要なもの」としてロット管理が義務付けられています。例として、血糖測定器の他、ペースメーカー、コンタクトレンズ、カテーテルなどが御座います。

全国若手薬剤師フォーラム2016参加報告

めぐみ薬局 五十嵐 友美

10月22日(土)23日(日)の2日間、全国若手薬剤師フォーラム2016が千葉県で行われ、全国から25歳から43歳の若手薬剤師が集結しました。

松本純衆議院議員や日本薬剤師会、日本薬剤師連盟の各先生方のご講演を受け、薬局・薬剤師の立場的、経済的に厳しい現状及び将来を改めて痛感したとともに、医師や歯科医師に比べて薬剤師の国会議員が圧倒的に少ないため、意見が反映されにくい現状であることを初めて知りました。

その後、8班に分かれ、「これから薬剤師としてどうなりたいか、どうならなければならないのか、そのためには何が必要か」を議題に、ディスカッションが行われました。私たちの班は「理想と現実」をテーマに、理想である「患者さんのオンリーワン」になるために、まずは自分達の労働環境の整備・充実が必要だと考えました。かかりつけ・24時間体制を謳う中で薬剤師のfeeが評価されているのか、60%以上が女性を占めている職業であることをふまえて、在宅調剤や深夜営業を行う上での労働体制や安全面の確保などを今後どうすべきか、また、そのような声を法律に反映するために、代表となってくれる議員を擁立するにはどうすべきかを発表させていただきました。

今回のフォーラムでは、薬剤師の職務も法律の下にあることを再確認できる良い機会となりました。また、私達薬剤師のより良い環境作りのためにも、政治との関係性を学ぶ機会や、今回のような若手薬剤師が思う理想と現実を語る場が今後増えると良いのではないかなと思います。また、今回のフォーラムも参加者がほぼ男性薬剤師だったのですが、女性薬剤師ももっと外に目を向けるとより良くなるのではないのでしょうか。

